

1. 授業のねらい・概要

データベースとは、大量の情報を整理してコンピュータ上に蓄積し、その情報をすばやく検索・抽出するためのツールである。現在のビジネス活動は、情報の源泉であるデータベースがなくては競争優位を獲得することはできない。この授業では、パソコンユーザ向けのデータベースソフトとして最も普及している Microsoft の Access を用いて、リレーショナル（関係）データベースの仕組み、データベースの構築方法、および操作方法を習得する。さらに、大規模情報システムを前提に構築したデータベースの運用と保守、特に障害管理やセキュリティ管理についての知識や技術を習得させる。

2. 授業の進め方

コンピュータを利用した実習形式で行う。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. フォームの作成 1 フォーム設計
2. データベースの基礎知識	10. フォームの作成 2 フォーム編集
3. Access の基礎知識	11. クエリの作成 2 レポート作成用クエリ
4. データベースの設計と作成	12. レポートの作成 1 レポート設計
5. テーブルの作成 1 フィールド設計	13. レポートの作成 2 レポート編集
6. テーブルの作成 2 データインポート	14. データベースの運用保守 障害管理
7. リレーションシップの作成	15. 大規模情報システムのセキュリティ管理
8. クエリの作成 1 フォーム作成用クエリ	

4. 到達目標

リレーショナルデータベースの仕組みや、データベースの構築方法、および操作ができるようになること。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

リレーショナルデータベースを理解するため、データベース論を履修すること。またはデータベース論に関する内容を学習しておくこと。

6. 成績評価の方法・基準

受講態度、実習課題の成果物、期末試験を総合して評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト:「よくわかる Microsoft Access 2016 基礎」, FOM 出版, 2016 年

8. 受講上の留意事項

この科目は一度休んでしまうとわからなくなってしまう。従って、授業には休まず出席すること。わからないところは積極的に質問して下さい。